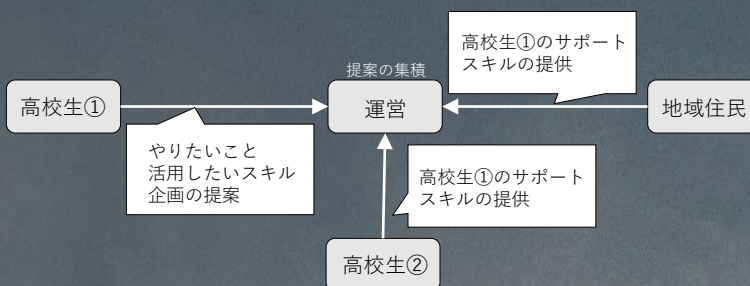


TRUE

～高校生のやりたいを叶える～

高校生と地域住民を繋ぎ、高校生のやりたいを叶えるプラットフォーム
それが“TRUE”

①TRUE概略図



運営は市役所と大学生
オンライン上及びオフラインでの場所の提供や会員の管理
ビジネスチャットを用いてコミュニティを形成
※今回はSlackを想定

Slackでは企画の進捗状況を公開
困りごとBOXを設け、課題に直面した時のブレイクスルーを促す

②やりたいを叶えるプロセス

1. 高校生①がSlackに投稿
2. 地域住民や高校生②が投稿に反応する
3. 高校生と地域住民が繋がる

4. ミーティング
 5. 進捗状況の投稿、困りごとBOXへの投稿
 6. 実現！！
- ※4,5を繰り返す

③なぜこのアイデアなのか

高校生や大学生へのインタビューで、大人や大学生、他校の人と話す機会が欲しいという声や、自分たちの活動を地域でも披露したい、能力を発揮したいという元文化部員の発言などからオンラインサロンの仕組みをヒントに生み出された。高校生のニーズを地域の人々の力を使って満たしていくことで、高校生と地域の結びつきを一層強くし、地域づくりへの興味を引き出す。

④実現までの簡単な流れ

ヒト：すべて長浜に揃っている
参加してくれるように宣伝をする
モノ：場所は基本公営の施設を使用
Slackなどのビジネスチャット
カネ：企画にかかるお金
宣伝費用

- ◆ 市役所の方と場所、資金に関して相談
- ◆ 地域連携協議会に協力を仰ぎ、一定の「地域住民」を最初に確保する
- ◆ プロトタイプで試してみる
→良ければ実現